

# 伊那市環境報告書

(令和2年度環境調査実績)

伊那市市民生活部生活環境課

# 1 自然環境の保全

## (1) 自然保護

### ア 自然公園

自然公園法及び長野県立自然公園条例に基づき、地域内での一部行為について、許可又は届出が必要となります。

区域	届出件数
南アルプス国立公園	13件
中央アルプス国立公園	4件
三峰川水系県立公園	10件

### イ 外来植物駆除事業

アレチウリ駆除(市内一斉駆除日を設定し実施)

ビロードモウズイカ駆除(高遠町全域をモデル地区として実施)

オオハンゴンソウ駆除(東春近野田山アヤマ園付近)

三峰川上流に繁茂するブツレアの駆除

### ウ 新山「トンボの楽園」保護・整備活動

環境省が行う、自然環境保全基礎調査の指標昆虫の一つであるハッチョウトンボを始め、多くのトンボが生息する「トンボの楽園」の保護や整備を地元管理団体と協働して実施しました。

内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>管理団体の変更(新山トンボの楽園を育てる会)</li> <li>環境整備(草刈等)の実施</li> </ul>

## (2) 環境美化

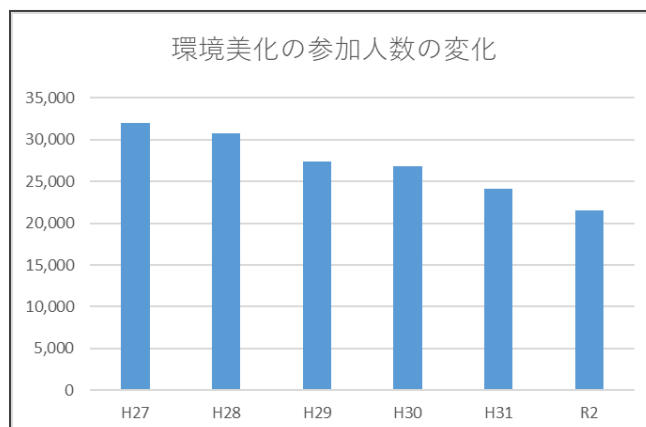
河川一斉清掃及び空き缶等回収

○河川一斉清掃 11月8日、3月14日

○空き缶等回収 6月21日

### 【総実績】

・参加人員	21,571人
・可燃ごみ	1,643袋
・不燃ごみ	683袋
・その他	215袋



## 2 生活環境の保全

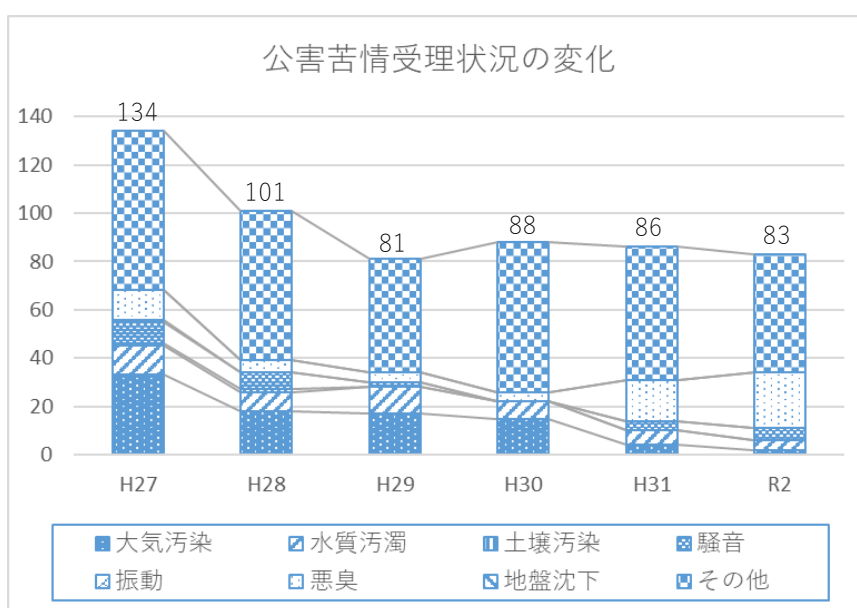
### (1) 公害苦情受理状況

公害苦情の受付件数は、多少の増減はあるものの、全体としては、減少傾向で推移しています。

実際に健康や財産等に被害を受けたものはなく、感覚的・心理的な公害苦情が多い状況です。

#### ○件数

大気汚染	水質汚濁	土壌汚染	騒音	振動	悪臭	地盤沈下	その他	年計
2	4	0	5	0	23	0	49	83



#### ※種別内訳

種別	内容
大気汚染	不適正な焼却炉の使用など
水質汚濁	交通事故によるガソリン流出、灯油等の河川流出など
騒音	近隣工場や生活音による騒音など
振動	
悪臭	草木等の焼却による臭い、堆肥の臭いなど
その他	ペットの不適正な飼育、空き地の管理など

#### ○用途地域別

都市計画用途地域								都市計画 区域外	合計
住居	近隣商業	商業	準工業	工業	工業専用	無指定	計		
18	1	2	6	0	0	56	83	0	83

○種類別

健康	財産	動植物	感覚的・心理的	その他	合計
0	0	0	83	0	83

○野外焼却苦情受付月別件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1	1	2	2	4	2	1	1	1	0	2	0	17

(2) 自動車交通騒音調査

騒音規制法第 18 条第 1 項の規定に基づき、伊那市内の自動車騒音の状況を常時監視するため、「騒音に係る環境基準の評価マニュアル」(平成 12 年 5 月 15 日付け環大二第 51 号、環大企第 101 号 環境庁大気保全局長通知 以下、「評価マニュアル」という。)及び「騒音規制法第 18 条の規定に基づく自動車騒音の状況の常時監視に係る事務の処理基準について」(平成 17 年 6 月 29 日付け環管自第 050629002 号環境省環境管理局长通知)に基づき、伊那市内の主要幹線道路における様々な道路条件、沿道条件等を踏まえ、道路交通騒音の環境基準達成状況を戸別建物ごと到的確に評価することを目的として自動車騒音測定を行っています。

○騒音測定

(平均値・単位 dB)

測定路線・地区	戸数	環境基準		測定結果		基準適否	
		昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間
伊那インター線	174	70	65	65	57	適	適
伊那辰野停車場線	506	70	65	69	60	適	適

(3) 河川水質検査

水質検査指定河川である天竜川、三峰川は天竜川上流河川事務所が水質検査を実施しているため、平成 27 年度から同様の検査は実施していません。

(4) 伊那市光化学オキシダント緊急時対策実施要領の運用

注意報等の発令はありませんでした。

(5) 微小粒子状物質(PM2.5)注意喚起情報発表に伴う広報

注意喚起情報発表はありませんでした。

(6) 水質事故の対応

オイルなどの流出事故が 3 件ありました。

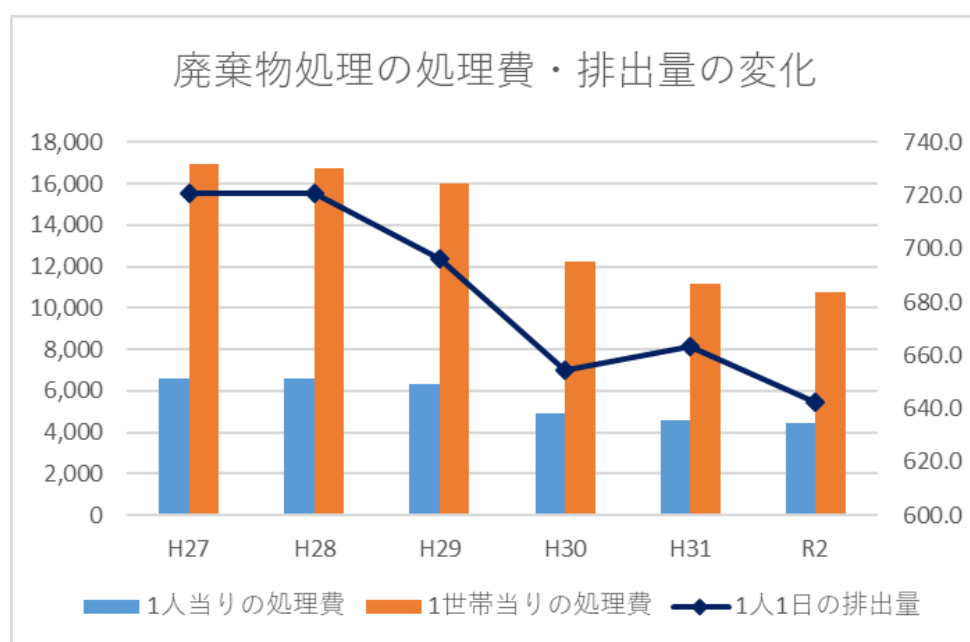
### 3 廃棄物処理

#### (1) 処理費用

人口 (R2.10.1)	世帯数	処理費	処理量	1人当り 処理費	1世帯当り 処理費	1人1日 排出量
67,290人	27,829世帯	300,180千円	15,774t	4,461円	10,787円	642.2g (前年)663.2g

※上記の数字は、家庭系ごみと事業系ごみの合計数字です。

※家庭系ごみの1人1日あたりの排出量は、499.99gです。



#### (参考) 廃棄物処理の処理費等算出根拠

	H27	H28	H29	H30	H31	R2
人口(人)	69,542	69,189	68,689	68,381	67,896	67,290
世帯数(世帯)	27,081	27,263	27,337	27,560	27,761	27,829
処理費(千円)	459,385	457,110	436,915	336,576	310,389	300,180
処理量(t)	18,289	18,205	17,455	16,330	16,480	15,774

## (2) 一般廃棄物の処理量(t)

## ○可燃ごみ・不燃ごみの処理量

区分 種類	家庭系		事業系	その他	計 (自家処理は除く)
	計画収集 〔家庭系指定袋〕 〔直接含〕	直接搬入 (家庭系有料)	直接搬入 (許可業者)	不法投棄・災害等	
可燃ごみ	8,400.50	620.68	3,490.88	5.59	12,517.65
不燃ごみ (含む粗大ごみ)	541.65	441.62	2.64	5.03	990.94
(内) 鉄	(236.25)				
(内) アルミ	(24.69)				
(内) 雑品	(10.75)				
計					13,508.59

## ○資源ごみ等の処理量

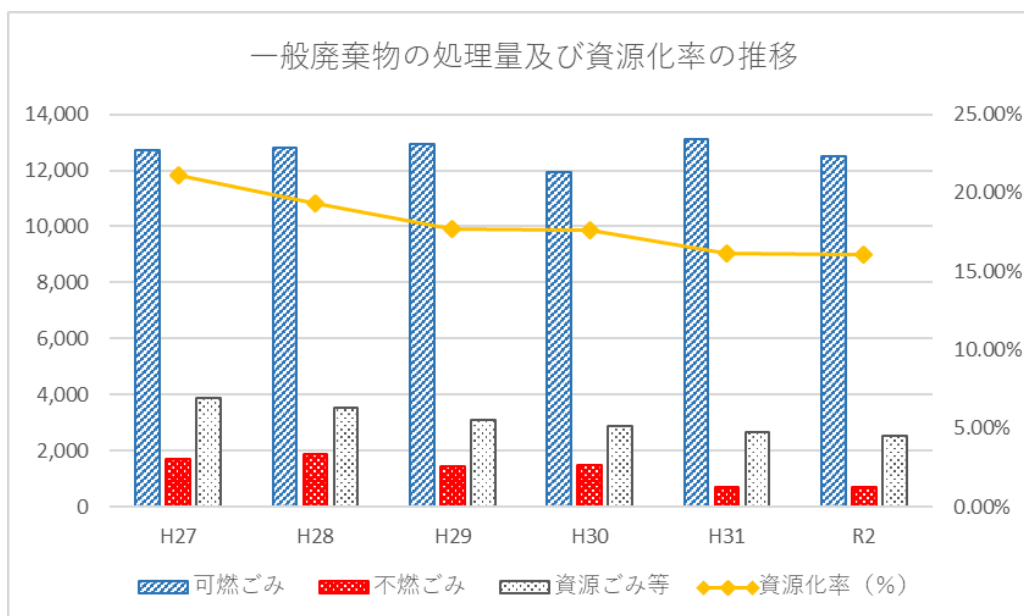
種類	R2年度	参考	
		H31年度	H31からの伸び率(%)
不燃ごみ(資源分)	271.69	243.39	11.63%
(内) 鉄	236.25	215.15	9.81%
(内) アルミ	24.69	20.96	17.80%
(内) 雑品	10.75	7.28	47.66%
資源プラスチック	658.38	685.67	-3.98%
古紙類	1,055.84	1,202.53	-12.20%
びん類	313.33	307.30	1.96%
スチール缶	30.50	28.29	7.81%
アルミ缶	44.18	38.97	13.37%
牛乳パック	3.84	3.80	1.05%
ペットボトル	66.47	67.42	-1.41%
廃食用油	2.27	2.22	2.25%
衣類	56.56	52.96	6.80%
有害ごみ	27.61	23.14	19.32%
その他	5.90	4.85	21.65%
計	2,536.57	2,660.54	-14.87%

○一般廃棄物の処理量(まとめ)

可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ等	合計
12,517.65	719.25	2,536.57	15,773.47

○資源化率

$$\begin{aligned} & \text{資源ごみの処理量} / \text{可燃ごみ} \cdot \text{不燃ごみ} \cdot \text{資源ごみ等の総処理量} \\ & = 2,536.57 / 15,773.47 \\ & = 16.08\% \end{aligned}$$



(3) 家庭から指定ごみ袋で排出されたごみの組成 (単位：%)

可燃物 測定：7、10の年2回		不燃物 測定：10月の年1回	
資源化できるガラス	0.00	資源化できるガラス	7.54
資源化できる紙類	6.71	資源化できる紙類	1.97
資源化できるプラ	3.53	資源化できるプラ	2.99
資源化できる金属	0.12	資源化できる金属	0.37
厨芥類	44.37	布類	0.07
布類	1.49	ゴム・皮革・アルミ箔	0.02
ゴム・皮革・アルミ箔	0.02	木・竹等	0.43
木・竹等	4.89	その他の可燃	7.32
その他の可燃	38.62	不燃ごみ	1.19
不燃ごみ	0.25	小型家電	21.08
		プラと金属の複合	14.18
		金属・ガラス・陶磁器	42.40
		処理不適物	0.44

#### (4)回収事業

ごみの減量化等を図るため、衣類、使用済乾電池、廃食用油の回収を行いました。

##### ○衣類

開催時期・会場			
6月28日、10月25日に9会場にて開催			
回収結果			
総数		56,560kg	
実績	リユース	古着として	80.00%
		ウエスとして	20.00%
	再生繊維としてリサイクル		0.00%
	廃棄		0.00%

##### ○使用済乾電池蛍光管の回収

開催時期・会場	
11月8日、3月14日（河川一斉清掃に合わせて実施）	
回収結果	
22,100kg	

##### ○廃食用油の回収

開催時期・会場	
2ヶ月に1回（市内一部のステーション）	

#### (5)補助制度

##### ○ごみ収集ステーション設置補助事業補助金

件数	10件	実績額	1,000千円
----	-----	-----	---------

##### ○生ごみ処理容器等購入補助金

件数	108件(108台)	実績額	1,751千円
----	------------	-----	---------

※機器内訳：電気式74台・容器式34台



## 4 地球温暖化防止

### (1) 伊那市環境審議会

伊那市環境基本計画に基づき、環境審議会を設置しました。

令和2年度は、審議会を2回開催し、伊那市再生可能エネルギー発電設備の設置等に関するガイドラインや伊那市環境報告書について審議しました。

### (2) 伊那市新産業技術推進協議会サステナブル環境部会

このサステナブル環境部会は、伊那市新産業技術推進協議会の一つの部会として、令和2年7月に設置された部会です。サステナブル環境部会では、再生可能エネルギー当による環境負荷の低減と二酸化炭素排出抑制や、脱プラスチック、食品ロス削減などによる持続可能まちづくりを進めることに関して、研究や実証を行う組織です。令和2年度は、課題の洗い出しをはじめ、今後の取り組みの方向性を確認しました。

### (3) 再生可能エネルギーの普及推進

ア 熱利用(二酸化炭素排出抑制計画(2016(H28)-2025(R7)による))

設備	施設名	計画前	計画策定後進捗状況 (R2年度末)		
		設置数	設置数	目標(R7)	達成率(%)
ペレットストーブ	民間	54	254	354	71.8
	公共施設(公民館、学校)	160	245	290	84.5
ペレットボイラー	温泉施設	1	2	5	40.0
	保育園	6	9	14	64.3
	学校調理場	3	8	12	66.7
	民間(みぶの里)	1	1	11	9.1
	農業用ハウス	3	7	23	30.4
	民間	0	0	50	0.0
薪ストーブ	民間	324	1,042	1,194	87.3
太陽熱	民間(補助件数)	103	181	343	52.8

### イ 補助制度

○住宅用太陽熱利用システム設置補助

件数	8件	実績額	400千円
----	----	-----	-------

### (4) 経木の活用

地元産材の新たな活用や脱プラスチックへの取り組みとして、木を薄く削って作る「経木」を食材の包みや仕切り、敷物などへ活用する検討を行いました。

#### (5) 麦ストロー

脱プラスチックへの取り組みの一環として、プラスチック製ストローの代替品として、麦ストローの普及に取り組みました。農福連携の事業として作成した麦ストローをイベント等で提供し広く周知することで、普及・啓発を図りました。

#### (6) エコバック普及事業

伊那市環境基本計画の重点プロジェクトとして掲げている「伊那から減らそう CO2!!」及び「すすめようプラごみの削減」への取り組みとして、CO2の削減や使い捨てプラごみの削減を目指して、エコバック約13,900個を作成し、コンビニエンスストア利用者や市内の全小中学生に配布し、普及に向けた啓発を行いました。

##### 【事業詳細】

##### ○第1弾

コンビニエンスストアでのエコバックの普及に向けて、約4,800個のエコバックを作成し、市内のコンビニエンスストア27店舗で無料配布するとともに、高校生や職員からの手渡しによる無料配布で啓発を行いました。

##### ○第2弾

市内企業18社との協働により、約9,100個のエコバックを作成し、啓発用のチラシとともに、市内の全小中学生に配布し、エコバック普及の啓発を行いました。

## 5 環境問題啓発・環境学習

### (1) 環境啓発(伊那市環境展の開催)

伊那市環境展2020は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりました。予定していた内容は次のとおりです。

伊那市環境展2020は、「環境にやさしく住みよい伊那市を次世代に」をキーワードに、地球温暖化、自然エネルギー、地域の自然環境、ごみ処理、3Rなど私たちの生活に関わる身近な問題について情報を発信し、体験をとおして学び、解決のヒントを探る機会としていました。

国民運動「COOL CHOICE」を基軸とし、「きて・みて・えらぼう!・・・未来のために・・・」を開催テーマに掲げ、市内の各地域で活動するグループ、団体及び企業等の様々な環境に関する取組・活動・製品などの発表やPRを通じ、環境やエコについて、楽しみながら学んだり、考えたりすることができる参加体験型のイベントとして開催を予定していました。

○開催予定日時及び会場

日時：令和2年10月4日(日) 午前10時から午後2時30分まで

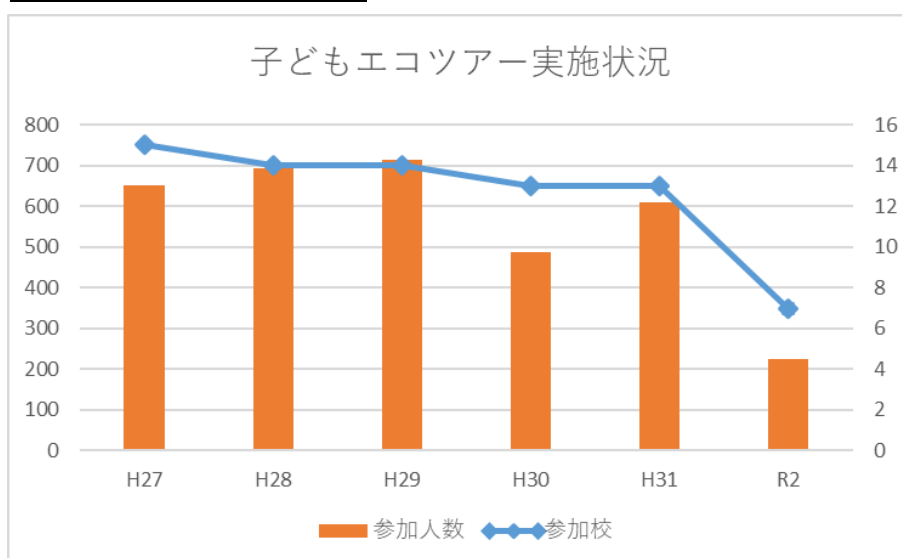
会場：伊那市防災コミュニティセンターほか

(2) 環境教育

ア 子どもエコツアーの実施

市内小学4年生の児童を対象に、環境への関心を高めることを目的としてごみ処理施設等の見学や林業体験等を実施しました。

実施回数	9回
参加校	7校
参加人数	226人



イ 環境教育用副読本

小学校4年生を対象とした環境教育用副読本「地球にやさしい きれいな伊那市」を作成し、4年生の児童に配布しました。各校において、環境教育の中で、活用していただきました。

ウ スターウォッチングの実施

星空の観察という身近な方法により、大気保全の重要性の認識や宇宙への関心を深めていただくことを目的として、プラネタリウム鑑賞と屋外での星空観察を行いました。

○開催日時及び会場

日時：令和2年11月21日(土)

午後6時30分から午後8時まで

会場：伊那市ふれあい交流施設「ぽっ歩館」(鳩吹公園内)

○参加者数 60名(23組)

伊那市環境報告書(令和2年度環境調査実績)

令和3年7月作成

---

伊那市  
〒396-8617  
長野県伊那市新田3050 番地  
市民生活部生活環境課環境政策係  
TEL: 0265-78-4111 内線:2211  
FAX: 0265-74-1260  
E-mail: sei@inacity.jp

---